

インドネシア小水力発電支援ファンド4号

償還時運用報告

(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

平素は格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

標記ファンドの償還につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

出資金総額	: JPY 11,460,000.-
うち投資総金額	: JPY 11,150,580.-
うち運用手数料	: JPY 309,420.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	: 2019年7月3日
グループ会社貸付金額	: IDR 1,459,308,991
適用直物 IDRJPY レート	: 0.007641
グループ会社貸付期間(当初予定)	: 2019年7月3日から2021年1月25日
資金運用日数(当初予定)	: 572日
グループ会社貸付金利(年利)	: 9.4%

===運用終了時の状況===

グループ会社貸付期間	: 2019年7月3日から2023年3月25日
資金運用日数	: 1,361日
予定グループ会社返済利息額(累計)	: IDR 214,970,208
実現グループ会社返済利息額(累計)	: IDR 396,523,314
遅延損害金額	: IDR 36,269,440
実現元利金返済額(累計)	: IDR 1,892,101,745

実現平均 IDRJPY レート ¹	: IDR 0.008446
実現 IDRJPY レート（償還月） ²	: IDR 0.008711
出資者返済原資（累計）	: IDR 1,892,101,745
円貨換算出資者返済原資（累計）	: JPY 15,980,079.-
ファンドの実現利回り（税引き前）	: 11.3%（期間：2019年7月3日～2023年3月31日）
募集時表面利回り（税引き前）	: 6.9%（期間：2019年7月3日～2021年1月31日）

===分配金および償還金の概況===

分配金および償還金の有無	: あり
分配金および償還金の金額	: 15,980,079 円
うち運用利益（▲運用損失）	: 4,520,079 円
出資金 1万円当たりの分配金および償還金の金額	: 13,944 円(実際の分配額は、端数処理の関係で左記の金額に出資金の額(1万円単位)を乗じた金額と差異が生じる場合がございます)

【出資対象事業の概況】

(1) 本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社(以下「本営業者」といいます。)は、お客様にご投資いただいた出資金をクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社(Crowdcredit Estonia OÜ。以下「エストニアグループ会社」といいます。)に対して貸付けを行いました。

(2) エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、「案件①」としてインドネシア共和国を拠点に事業を展開する小水力発電事業者である PT Anantaka Energi Indonesia(前 PT Anantaka Hidro Indonesia、以下「Anantaka 社」といいます)へ貸付を行いました。さらに「案件②」として、Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介してジョージア(旧グルジア共和国)の会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローン債権の購入を行いました。

本ファンドは運用日数が当初予定を超えて償還が遅れたものの、元利金および遅延損害金のすべてを回収し、ルピア建てベースで 8.9%の運用利回りとなりました。また、運用開始時に 1ルピアあたり 0.007641 円だった為替換算レートが運用終了時には 1ルピアあたり 0.008711 円へと円安が進行した結果、ファンドの実現利回り 11.3%（出資金 1万円あたり 3,944 円の利益）と、募集時の目標利回りであった 6.9%を上回りました。

¹ 運用期間の累積円貨換算出資者返済原資（円貨基準）を、運用期間の累積実現元利金返済額（IDR 基準）で割ったレートを、本ファンドの実現平均 IDRJPY レートとして記載しております。なお、上記の実現平均 IDRJPY レートは本ファンドにのみ適用されるものです。

² 償還月の直物 IDRJPY レートを実現為替レートとして記載しています。

返済の状況

Anantaka 社は、2022 年 6 月期において、同社が保有するプロジェクト会社（CME 社）株式の 2021 年度配当金をもとに、エストニアグループ会社へ債務を一部返済しました。その後、エストニアグループ会社社員と対面で協議した結果を受けて、CME 社以外の水力発電プロジェクト持分の売却等による返済資金の確保、新たな資金調達、同社代表者による資金確保などを模索していました。³

エストニアグループ会社が Anantaka 社と継続して協議を重ねる中で、2022 年 12 月末頃より状況が進展し、2023 年 2 月末を目途に残る債務を返済する旨の連絡を受けました。

Anantaka 社は 2023 年 2 月期に残債務の一部を返済し、このたび 2023 年 3 月 2 日の送金をもって同社のエストニアグループ会社に対する遅延損害金を含む債務を全額返済しました。

2023 年 3 月期における分配および償還について

当月期において、Anantaka 社はエストニアグループ会社へ債務残高の総額に当初のローン契約期間を超過した期間に対する遅延利息を加えた合計 352,309.59 米ドルを支払いました。本営業者は、このうち本営業者のエストニアグループ会社に対する債権額を上限として、本ファンドを含むシリーズ（インドネシア小水力発電支援ファンド 3~6 号）の各号へ適切に按分して、分配を行います。

また、本ファンドは当初想定した利息額を満額返済できない可能性を考慮し、元本を優先して返済する措置を取っておりました。これは、最終的に元本に毀損が生じる可能性がある中で、利息を優先して払うことで、投資家様において源泉徴収税の負担が分配のたびに生じ、最後に元本の毀損に対応した損失を分配することでトータルでのネット（手取り）の受取り額が減少してしまうので、それを避けるためです。

しかしながら、前月期(2023 年 2 月期)の分配額決定時点で当初貸付元本および経過利息の完済見通しが立ち、前月期及び当月期ともに利息を優先した分配に変更しております。

この分配をもって本ファンド財産の分配をすべて完了し、当社は本ファンドを償還いたします。

おわりに

長期の外貨運用には、為替変動に伴う差損益が常に発生いたします。一時的な為替変動による影響を抑制できるよう、投資対象と投資実行時期の分散を行いながら長期的な外貨投資の継続をご検討いただければ幸いです。

本ファンドの出資金は、金融商品取引業等に関する内閣府令第 125 条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に銀行に開設する預金口座へ預金する方法によって、本営業者の固有財

³ 詳しくは 2022 年 12 月 14 日配信レポート「インドネシア小水力発電支援ファンド 3 号~6 号の運用状況につきまして」をご覧ください。https://platform.crowdcredit.jp/img/blog/upload/upload_1670998940.pdf

産その他本営業者の行う他の事業に係る財産とは分別して管理を行いました。

今後とも当社の事業にご理解とご支援を賜れますと幸いです。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2021年12月末現在・単位：千円)	1,000	13,924,060	13,939,753	△ 15,692	1,749,015	60	617	547
Crowdcredit Estonia OÜ (2021年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	108,182,360	107,524,536	657,824	12,663,766	2,194	△ 17,708	△ 17,708
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2021年12月末現在・単位：千円)	50,000	16,899,282	16,336,670	562,612	1,926,201	△ 418,142	△ 413,478	△ 415,833

※会計期間(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の金額を記載しております。